

NEWS RELEASE

高等教育コンソーシアムみえ単位互換科目
「日本理解特殊講義 3(医療・健康・福祉実践)」実施のご案内
学生が作った「すごろく」で市長と名張の未来を考える

- 本学をはじめ県内の高等教育機関と三重県で構成される「高等教育コンソーシアムみえ」では、加盟機関の学生が他大学等の授業を履修できる単位互換制度を実施しています。今回、その単位互換科目の一つである「日本理解特殊講義3(医療・健康・福祉実践)」では、名張市内で4日間(8月25日～28日)の集中講義を行います。
- 名張市内の様々な地域を回り、医療や福祉だけでなく地域活性化や健康づくりなどについても学んでもらいます。参加予定学生は9名です。
- 授業はグループに分かれてフィールドワークを行い、最終提出物としてグループごとに「すごろくの盤面」を作り、8月28日に名張市長とそのすごろくをプレイしながら名張の未来について話し合います。

【概要】

高等教育コンソーシアムみえの単位互換科目の一つ「日本理解特殊講義3(医療・健康・福祉実践)」。

今回この授業では4日間名張市内の様々な施設や地域を巡り、医療、健康、福祉について学ぶ予定です。本学の学生 2 名、県内の高等教育機関からの単位互換生 7 名の計 9 名が履修しています。授業は複数のグループに分かれ、地域を巡りながら医療・健康・福祉のみならず、歴史や高齢化などを含む様々な側面から地域の課題を認識してもらいます。そして地域をよりよくしていくために、いま私たちがどう行動すべきかを考えていく授業構成です。

最後にそれぞれのグループで考えをまとめたものを「すごろくの盤面」に落とし込む予定です。あえて、プレゼンや報告資料、レポートなどではなく「すごろく」にすることでゲーム性を持たせ、「学生たちが地域で感じて考えたこと」を老若男女問わず楽しみながら伝えることができます。すごろくの盤面はスタート地点に解決したい地域の課題が書かれており、マスを進めるごとに地域がよりよくなる仕組みやアイデアがちりばめられ、ゴールには明るい未来が書かれています。

集中講義最終日の 8 月 28 日(金)は、名張市長にも「すごろく」を通して学生が地域で感じて考えたことを追体験していただく予定です。是非ともご取材いただきますようお願い申し上げます。

日程:8月28日(金) 16:00～16:30(※お時間前後する可能性がございます)

場所:市民情報交流センター(Navarie2 階)

<本件に関するお問合せ>

三重大学 学生支援・キャリアセンター 織田 拓

TEL: 090-8388-3164 E-mail: orita.sansui@mie-u.ac.jp

